

目次

1	治療計画	7
1.1	診断情報収集	9
1.2	リスクファクター	11
1.3	CT スキャン評価	15
1.4	即時荷重ガイドライン	17
1.5	治療計画の立案	19
1.6	治療計画の提示	20
2	外科	21
2.1	インプラント埋入の基本	23
2.2	ソケットグラフトとリッジプリザベーション	26
2.3	二次手術	28
2.4	歯槽頂アプローチによる上顎洞底挙上術	32
2.5	顆粒状骨移植材料と吸収性または非吸収性メンブレンを用いた GBR プロトコール	35
2.6	rhBMP-2/ACS（リコンビナントヒト BMP-2 と吸収性コラーゲンス ポンジの混合材料）とチタンメッシュを用いた GBR プロトコール	38
2.7	スプリットリッジ法を用いた歯槽堤拡大	40
2.8	異種骨を用いたブロック骨移植	45
2.9	側方アプローチによる上顎洞底挙上術	47
3	ミニインプラントおよびナローインプラント	49
3.1	ミニインプラントあるいはナローインプラントの治療計画	51
3.2	ミニインプラントあるいはナローインプラント埋入：フラップレス プロトコール	53
3.3	ミニインプラントあるいはナローインプラント埋入：全層弁プロト コール	55
3.4	ミニインプラントあるいはナローインプラントの補綴プロトコール	57

4	術後指導	59
4.1	インプラント埋入 /GBR 後の指導	61
4.2	ソケットグラフト後の指導	62
4.3	ブロック骨移植後の指導	64
4.4	上顎洞底挙上術後の指導	65
4.5	鎮静後の指導	66
5	インプラント手術用器具の準備	67
5.1	基本的なインプラント手術用器具の準備	69
5.2	即時埋入インプラント手術用器具の準備	70
5.3	ソケットグラフトのための器具の準備	71
5.4	GBR のための器具の準備	72
5.5	歯槽頂アプローチによる上顎洞底挙上術用器具の準備	74
5.6	スプリットリッジ法による歯槽堤拡大のための器具の準備	76
5.7	側方アプローチによる上顎洞底挙上術用器具の準備	78
5.8	自家骨を使用した骨移植のための器具の準備	80
5.9	出血コントロールおよび気道確保のための器具・器材	82
5.10	口腔内における骨採取のための器具・器材	83
5.11	縫合用材料	84
6	緊急合併症	85
6.1	神経損傷の評価	87
6.2	出血時の対応	89
6.3	通法の外科的輪状甲状靭帯切開	91